

令和7年度諫早市農業委員会 第1回総会議事録

1 開催日時 令和7年4月28日(金) 開会 午後2時00分～閉会 午後4時00分

2 開催場所 諫早市役所 本館5階 大会議室

3 出席委員(19人)

会長職務代理者 19番 久本純造

農業委員	1番	久保 繁	2番	牟田直志	3番	西口雪夫
	4番	立森和富	5番	前田貞松	6番	林田芳信
	7番	平野和敏	8番	増田真美子	9番	補伽文夫
	10番	森田正男	11番	中島康範	12番	松本秀徳
	13番	江崎義明	14番	野田 浩	15番	泉野政則
	16番	田淵勇二	17番	池田武弘	18番	増山時子

4 欠席委員(1人) 20番 山開博俊

5 付議事件

第1号 諫早市農業委員会会長の辞任に対する同意について

第2号 令和6年度事業報告承認の件

第3号 令和7年度事業計画(案)承認の件

第4号 令和7年度最適化活動の目標の設定等(案)承認の件

第5号 農業振興地域整備計画の農用地利用計画変更に伴う意見聴取の件

第6号 農地法第3条の規定による許可申請書審議の件

第7号 農地法第4条の規定による許可申請書審議の件

第8号 農地法第5条の規定による許可申請書審議の件

第9号 農地中間管理事業に係る「農用地利用集積等促進計画」に対する意見聴取の件

第10号 地籍調査による農地地目の変更に伴う意見聴取の件

6 報 告

第1号 農地法第3条の3の規定による届出書受理の件

第2号 農地法第18条第6項の規定による合意解約の通知の件

第3号 農地法第5条の規定による農地転用届出書受理の件

第4号 農業用施設届出書受理の件

第5号 農地改良等届出書受理の件

第6号 令和6年度農地法第32条に基づく利用意向調査の結果及び農地中間管理機構への情報提供の件

7 その他

8 事務局

局長 諸岡昌史	次長 嶋田弘樹	専門官 西村隆治
主任 葉山信太郎	事務職員 久間利彦	事務職員 俣野海喜

9 議 事 (開会)

事務局 長 ただいまより、「令和7年度諫早市農業委員会第1回総会」を開会いたします。
本日は、公務御多用の中、ご来賓として諫早市長 大久保潔重様に御出席を頂いております。誠に有難うございます。

また、新野農林水産部部長様をはじめ、農林水産部幹部職員の方々にも御出席いただいております。誠に有難うございます。

それでは開会にあたり、諫早市農業委員会 久本会長職務代理が、御挨拶申し上げます。

会 長 (会長挨拶)

事務局 長 続きまして、諫早市長 大久保潔重様より、御挨拶を賜わりたいと存じます。よろしく願いいたします。

市 長 (市長挨拶)

事務局 長 有り難うございました。諫早市農業委員会は、農業委員20名と主に担当地域の現場活動を中心に活動いただいております農地利用最適化推進委員38名の合計58名で構成され、農地法に基づく許認可事務や農地利用の最適化活動等を行っております。どうぞよろしくお願い致します。

事務局 長 ここで、御来賓の大久保市長様は、公務のため退席されます。大変、お忙しい中、有り難うございました。

(市長退席)

事務局 長 続きまして、新野部長様をはじめ、ご同席いただいております農林水産部幹部の皆様をご紹介したいと存じます。

(農林水産部幹部職員紹介)

事務局 長 有り難うございました。新野部長様はじめ、各課室長の皆様は、公務のため、ここで退席されます。お忙しい中、有り難うございました。

(農林水産部幹部職員退席)

事務局 ただいまより、「令和7年度諫早市農業委員会第1回総会」を始めさせていただきます。

事務局 本日は山開会長が都合により欠席のため、農業委員会等に関する法律第5条第5項の規定に基づき、久本職務代理に議長をお願いしたいと思います。それでは、職務代理挨拶と開会宣告、議事の進行につきまして、久本職務代理、よろしくお願い致します。

職務代理 (職務代理挨拶)

議 長 これより、令和7年度諫早市農業委員会第1回総会を開会いたします。

- 総会の定足数について、事務局より報告願います。
- 事務局 総会の定足数につきまして、ご報告いたします。
- 農業委員会の在任委員２０名中、１９名の出席で定足数に達していますので、総会が成立していることをご報告いたします。なお、２０番・山開会長から欠席の届出がっております。以上で、報告を終わります。
- 議長 それでは議事に入る前に、諫早市農業委員会総会会議規則第１９条第２項に規定の議事録署名人を定めたいと存じます。私に、ご一任いただければ指名したいと思います。いかがでしょうか。
- （「異議なし」と言う者あり）
- 議長 異議なしということですので、議事録署名人に５番・前田貞松委員、１４番・野田浩委員のご両人をお願いいたします。それでは、議事に入りますが、議事進行上発言される際は、挙手をし、議長の許可を受けてから氏名を告げて発言願います。また、発言は簡明に、議題外又はその範囲を越えないようにお願いします。
- （議案第１号） それでは、議案第１号「諫早市農業委員会会長の辞任に対する同意について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
- 事務局 議案第１号「諫早市農業委員会会長の辞任に対する同意について」経過を説明いたします。
- 昨年、１２月に入院し、現在も治療中であり、退院の目途はたっていないとのこととあります。そして、４月１１日付けで山開会長から一身上の都合により、令和７年４月３０日をもって会長職を辞任したい旨の届出が提出されました。
- 会長の辞任については、「農業委員会等に関する法律第１３条第２項」の規定「会長は、正当な事由があるときは、農業委員会の同意を得て会長を辞任することができる。」と定められており、農業委員会の同意が必要であることから審議いただくものです。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。
- 議長 議案第１号の説明がありましたが、何かご意見等はありませんか。
- （「なし」と言う者あり）
- 議長 ご意見等が無いようですので、採決をとります。山開会長の会長辞任について、同意される方は挙手をお願いします。
- 本日の総会出席者数１９名中、１９名全員の賛成者により、出席委員の過半数を超えていることから、第１号議案については、同意すると決定します。
- 議長 第１号議案が可決されたことにより、会長が不在となりましたので、会長の互選について、事務局から説明を求めます。
- 事務局 第１号議案が賛成多数で可決されましたので、会長職が不在となりました。農業委員会等に関する法律第５条第２項に、「会長は、委員が互選した者をもって充てる。」と定められていますので、総会に議題として上程する必要があります。本総会で上程するか、来月の総会に上程するか、また臨時総会を開催するかの方法になります。
- 議長 事務局から「会長の互選について」説明がありましたが、いかがいたしましょうか。

議 長 「会長の互選について、本総会に上程する動議を提案いたします」との声あり)

議 長 「会長の互選について」本総会に上程する動議が提案されましたが、事務局から説明を求めます。

事 務 局 動議については、「諫早市農業委員会総会会議規則」第 12 条の規則の「この規則に特に定めた場合を除き、すべての動議は 1 人以上の賛成者がなければ議題とすることができない」と定められております。

議 長 それでは、委員から「会長の互選について」本総会に上程する動議が出されたので、賛成者を確認いたします。動議について賛成の方は挙手をお願いします。
(挙手あり)

議 長 本件につきましては、賛成者がいますので、「諫早市農業委員会総会会議規則」第 12 条の規定により、動議は成立いたしました。それでは、動議は成立しましたので提案委員より動議の内容及び提案理由について、説明を求めます。

委 員 会長不在の状況は、早急に改善するべきではないかと思しますので、提案いたします。

議 長 ただいま、「会長の互選について」本総会に上程することについての説明がありましたが、何かご意見等はございませんでしょうか。

議 長 ご意見等が無いようですので、事務局から説明を求めます。

事 務 局 それでは、ご説明いたします。農業委員会等に関する法律第 5 条第 2 項に、「会長は、委員が互選した者をもって充てる。」と規定されております。選出の方法といたしましては、地方自治法第 103 条第 1 項及び同法第 118 条第 2 項を準用し、単記無記名投票による方法と、指名推選による方法の 2 通りがございます。単記無記名投票とは、通常の選挙と同じです。指名推薦とは、自薦、他薦を問わず、適任と思われる方を推薦する方法です。指名推薦方法では、全員の賛成、挙手が必要です。以上です。

議 長 事務局から説明がありましたが、会長互選の方法については、「選挙による方法」と「指名推薦の方法」があります。いずれの方法がよろしいかお諮りいたします。
(「指名推選をお願いします」と言う者あり)

議 長 ただいま、「指名推薦」とのご意見がございましたが、それにご異議ございませんか。
(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、会長の互選は、指名推薦による方法で行いたいと思います。それでは、自薦、他薦を問わず、会長に適任と思われる方の推選をお願いいたします。
(「久本委員が適任だと思いますので推選いたします」と言う者あり)

議 長 ほかに適任と思われる方はいらっしゃいませんか。

議 長 それでは、お諮りします、会長に久本委員を推選する発言があっております。久本純造委員を会長とすることにご異議ありませんか。
(「異議なし」と言う者あり)

議 長 地方自治法第 118 条第 3 項を準用し、出席者全員の同意を確認いたしますの

で、ご異議がない方は挙手願います。

(賛成者の挙手)

議 長 全員の挙手を確認しましたので、令和7年5月1日に久本純造委員を会長に就任することに決定いたします。

事 務 局 それでは、5月1日からの新会長が決定しましたので、新会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

(新会長挨拶)

事 務 局 ありがとうございます。会長職務代理者が会長へ就任することから、新会長職務代理者の互選について、いかがいたしましょうか。

議 長 新会長職務代理者の互選について、事務局から説明を求めます。

事 務 局 会長職務代理者の互選につきましては、農業委員会等に関する法律第5条第5項に、「会長が欠けたとき又は事故があるときは、委員が互選した者がその職務を代理する。」と規定されており、総会に上程する必要があります。本総会で上程するか、来月の総会に上程するか、臨時総会を開催するかになります。

議 長 事務局から「会長職務代理者の互選について」説明がありましたが、いかがいたしましょうか。

(「会長職務代理者長の互選について、本総会に上程する動議を提案いたします」との声あり)

議 長 「会長職務代理者の互選について」本総会に上程する動議が提案されましたが、事務局から説明を求めます。

事 務 局 動議については、「諫早市農業委員会総会会議規則」第12条の規則の「この規則に特に定めた場合を除き、すべての動議は1人以上の賛成者がなければ議題とすることができない」と定められております。

議 長 それでは、委員から「会長職務代理者の互選について」本総会に上程する動議が出されましたので、賛成者を確認いたします。この動議について賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手あり)

議 長 本件につきましては、賛成者がいますので「諫早市農業委員会総会会議規則」第12条の規定により、動議は成立いたしました。それでは、動議は成立しましたので、提案委員より動議の内容及び提案理由について、説明を求めます。

委 員 会長職務代理者不在の状況は、1日も早く改善するべきではないかと思っておりますので、提案いたします。

議 長 ただいま、「会長職務代理者の互選について」本総会に上程することについての説明がありましたが、何かご意見等はございませんでしょうか。

議 長 ご意見等が無いようですので、事務局より説明を求めます。

事 務 局 会長職務代理者の互選につきましては、農業委員会等に関する法律第5条第5項に、「会長が欠けたとき又は事故があるときは、委員が互選した者がその職務を代理する。」と規定されているところです。会長職務代理者の互選の方法は、会長互選と同様に単記無記名投票による方法と指名推選の方法がございます。単記無記名投

票とは、通常の選挙と同じです。指名推薦とは、自薦、他薦を問わず、適任と思われる方を推薦する方法です。指名推薦方法では、全員の賛成、挙手が必要です。

議 長 事務局から説明がありました。会長職務代理者互選の方法については、「選挙による方法」と「指名推選の方法」があります。いずれの方法がよろしいかお諮りいたします。

(「指名推薦をお願いします」と言う者あり)

議 長 ただいま、「指名推薦」とのご意見がございましたが、それにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、会長職務代理者の互選は、指名推薦による方法で行いたいと思います。それでは、自薦、他薦を問わず、会長職務代理者に適任と思われる方の推薦をお願いいたします。

(「前田委員が適任だと思いますので推薦いたします」と言う者あり)

議 長 ほかに適任と思われる方はいらっしゃいませんか。

議 長 それでは、お諮りします、会長職務代理者に前田委員を推薦する発言があつております。前田委員を会長職務代理者とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 地方自治法第118条第3項を準用し、出席者全員の同意を確認いたしますので、ご異議がない方は挙手願います。

(賛成者の挙手)

議 長 全員の挙手を確認しましたので、前田貞松委員を会長職務代理者とすることに決定いたします。

事務局 それでは、5月1日からの新会長職務代理者が決定しましたので、新会長職務代理者よりご挨拶をいただきたいと存じます。よろしく願います。

(新会長職務代理者挨拶)

事務局 ありがとうございます。新会長、新会長職務代理者が決定したことにより「議席の指定」について、説明してよろしいでしょうか。

議 長 事務局より手続き等について、説明をお願いします。

事務局 会長及び会長職務代理者の変更に伴い、「議席の指定」の変更が生じます。議席の指定につきましては、「諫早市農業委員会総会会議規則」第5条第2項に、「会長は、必要があると認められるときは、議席を変更できる。」と定められております。

議 長 「議席の指定」について、事務局から説明がありましたとおり、会長に委任することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 異議ありませんので、「議席の指定」については、会長に委任することに決定いたしました。

(議案第2号)

議 長 次に、議案第2号「令和6年度事業報告承認の件」を議題といたします。事業方針(案)、事業計画(案)について事務局より説明をお願いします。

事務局

議案第2号「令和6年度事業報告承認の件」を説明いたします。

令和6年度は、農地の利用状況調査の結果に基づき、遊休農地の所有者には利用意向調査、荒廃農地の所有者には非農地通知を行い、守るべき農地の明確化を推進しました。さらに担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進などを行い、農地等の利用の最適化を推進しました。また、農業者年金への加入推進活動を行い新規加入者の目標人数を達成することができました。

項目ごとの活動については、1番の会議の開催は、毎月の総会においては、農地法等に基づく各種申請書の審議のほか、市から意見を求められた農業振興地域整備計画の見直しに伴う意見聴取の審議や農地中間管理事業に係る「農用地利用集積等促進計画」に対する回答などを行いました。

2番の農地関係業務は、各種申請書審査等を行い、適正な事務処理に努めました。また、農地利用状況調査で遊休農地の所有者等に、農地利用意向調査を実施して貸付け等の意向を確認し、農地中間管理事業等を利用する所有者等の情報を農地中間管理機構へ提供し借受け希望者へのあっせんを行っております。農地の流動化推進については、貸し手・借り手からのあっせん依頼を受け認定農業者等の担い手への権利設定を推進しました。遊休農地解消については、農地中間管理機構等と連携し、規模拡大を図る認定農業者等と遊休農地とのマッチングを行いました。

3番の農政関係業務は、6年度の活動計画に基づき実施したところです。担い手支援、農業後継者等への相談・支援については、市や関係機関等と連携し、指導・助言を行いました。女性農業委員の活動支援については、「農業委員会女性研修会」、「ながさき女性農業者の集い」及び「全国農業委員会女性活動シンポジウム」等に参加しております。広報業務では、「農業委員会だより」を年2回発行しており、全国農業新聞の購読推進も併せて行いました。

4番の行政機関等への意見書の提出では、運営委員会を開催して内容を協議したうえで、11月に会長外6名の委員が参加し、市に対して「農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書」を提出いたしております。

5番の農地賃借料情報提供は、調査を実施し、市ホームページに掲載しております。

最後に6番の委員研修については、先進地視察研修として10月に福岡県みやま市農業委員会を訪問し、「遊休農地解消の取組み」について研修を行いました。また、8月に農業会議が開催した「地区別農業委員会委員研修会」へ参加し、12月に「農地中間管理事業に係る説明会」等を実施しております。

議案第2号について、概略を説明いたしました。詳細については、別添の事業報告書のとおりです。以上で議案第2号の説明を終わります。

議長

議案第2号の説明がありました。何かご質問はありませんか。
（「なし」と言う者あり）

議長

ご質問がないようですので、議案第2号は承認することにご異議ありませんか。
（「異議なし」と言う者あり）

議長

ご異議がないようですので、議案第2号は承認することに決定いたします。

(議案第3号)

議 長 次に、議案第3号「令和7年度事業計画（案）承認の件」を議題といたします。
事務局より説明をお願いします。

事 務 局 議案第3号「令和7年度事業計画（案）承認の件」について説明いたします。

4ページの事業方針（案）です。わが国の農業は、少子高齢化による担い手不足、遊休農地の増加、国内農産物の生産量の減少や食料自給率の低下などにより地域経済が衰退しています。こうした状況であります。諫早市農業委員会では、農地利用の最適化の推進に取り組んでいきたいと考えております。主な内容としては、農地利用状況調査の調査結果に基づく遊休農地の所有者等への利用意向調査、策定された地域計画の更新、また、地域の意向に沿った農地の有効活用を推進し、遊休農地の解消に努めるとともに、農地中間管理事業との連携を図るため農地中間管理機構等への情報提供等を行い、地域農業の担い手である認定農業者や新規就農者への農地集積・集約化を推進していきます。農業者の老後の生活安定を図るため、認定農業者などの担い手に対して、積極的に農業者年金の加入推進を図り、さらに行政機関に対しては、「農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書」の提出を例年どおり行ってまいります。

次に5ページから6ページにかけては、令和7年度事業計画（案）です。1番の会議の開催については例年同様です。

2番の農地関係業務では、農地法等関係業務、農地利用最適化業務、地域計画策定に向け各関係機関との協議への参加など取り組んでいきます。

3番の農政関係業務については、担い手支援や認定農業者への巡回による経営相談、農業後継者等への相談支援、農業者年金制度への加入推進活動、家族経営協定締結の推進について引き続き行っていきます。

4番の行政機関等への意見書の提出は例年どおり行います。

5番の農地賃借料情報提供業務についても例年同様、調査後に情報提供を行っていきます。

6番の委員研修の実施については、農業委員会独自の研修の実施や関係機関が開催する研修会等へ参加していきたいと考えております。以上で議案第3号の概略の説明を終わります。

議 長 議案第3号の説明がありましたが、何かご質問はありませんか。
（「なし」と言う者あり）

議 長 ご質問がないようですので、議案第3号は承認することにご異議ありませんか。
（「異議なし」と言う者あり）

議 長 ご異議がないようですので、議案第3号は承認することに決定いたします。
(議案第4号)

議 長 次に、議案第4号「令和7年度最適化活動の目標の設定等（案）承認の件」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

事 務 局 議案第4号「令和7年度最適化活動の目標の設定等（案）の件」について説明いたします。

この議案第4号の目標設定等につきましては、ガイドラインに基づき、作成するものとなっており、「農業委員会としての成果目標」と「農業委員・推進委員が実施する最適化活動の活動目標」を設定しております。

それでは7ページをご覧ください。令和7年4月1日現在の農業委員会の体制や農家・農地の概要を記載しております。詳細は記載のとおりでございます。

次に8ページから9ページにかけて、「最適化活動の成果目標」として、農地の集積、遊休農地の解消、新規参入の促進の3つの項目ごとに、現状と課題や令和6年度の目標数値をガイドラインに基づき設定しております。令和7年度の担い手への集積目標につきましては、令和12年度までに農地の82%を担い手へ集積するとしておりますので、その達成に向けて近年の実績等を参考に52haの農地を新規に集積する目標としております。

次に、8ページ中段、遊休農地の解消につきましては、6年度の緑区分の遊休農地は38.9haでございますが、既存の遊休農地解消の目標は、令和3年度利用状況調査時点における、緑区分の遊休農地面積を基準として、5年間かけて解消するという目標設定をすると定められております。そのうち条件が悪い狭小地や傾斜地であるなど、農地として利用することが著しく困難で、かつ、今後、農地として利用する見込みがないものは目標面積から除外することとなっておりますので、令和3年度の緑区分面積であった44.8haから除外する面積14.1haを除いた30.7haの5分の1となる、約6.1haを今年度に解消するという目標設定としております。

また、令和6年度の黄区分の遊休農地は、493.3haでございますが、黄区分につきましては、解消のための工程表を策定するにあたり、県や市、農地バンク等と協議することを目標としております。

次に、9ページの新規参入の促進に係る目標につきましては、新規参入者に対する農地の貸付等について、農地所有者の同意を得た面積を37.7haとするものでございます。この数値は、令和4年から令和6年度の権利移動面積（農地バンクへの貸付を除く）の3か年平均の1割を設定しております。

最後に、9ページ中段以降に「最適化活動の活動目標」を記載しております。最適化活動の目標日数は、月10日と設定しております。この数字につきましては、令和3年12月に開催された全国農業委員会会長代表者集会における申し合わせ事項で決められた数字でございます。

次の、活動強化月間の設定目標は、年3回設定することとしております。記載のとおり5月と11月は基盤強化法による貸借期間満了となる農地について、農地バンクを通じた貸借へ誘導をすることとしており、1月に利用意向調査の対象者に対して回答を促したいと考えております。

次の、新規参入相談会への参加目標は、委員が1名以上参加することを、目標として設定することとされておりますので、長崎県新規就農相談センターで行われるオンライン相談会へ参加するという目標にしております。以上で議案第4号の説明を終わります。

議 長 議案第4号の説明がありました。何かご質問はありませんか。

委 員 毎年、利用状況調査を実施し、事務局で調査票を回収していると思うので、農業委員にも情報提供してもらいたい。出し手の情報が入ってこないで、あっせんするように言われても難しい。出来たら今後農業委員にも出し手などの情報を流してもらいたい。

議 長 有難うございます。貸したい、借りたいという情報がありましたら、全地区でなく地区ごとの情報を農業委員の方に、このような総会等で情報を提供することによってよろしいですか。それについて、事務局から何かありますか。

事 務 局 今後、土地利用データを出せるよう検討いたします。

相続の場合になりますが、相続して農地を管理できない場合、あっせんを希望しますという欄を今回から作りましたので、そういう所についても農業委員にお願いして耕作者との結びつけができればと思っておりますので、よろしくお願いします。

議 長 今の議案質問の件については、事務局としても検討して今後取り組んでいくということでしたがよろしいでしょうか。

委 員 はい。

議 長 ほかにご質問はありませんでしょうか。無ければ、議案第4号は承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、議案第4号は承認することに決定いたします。

(議案第5号)

議 長 次に、議案第5号「農業振興地域整備計画の農用地利用計画変更に伴う意見聴取の件」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

事 務 局 議案第5号「農業振興地域整備計画の農用地利用計画変更に伴う意見聴取の件」についてご説明いたします。今月は5件の農用地利用計画変更に伴う意見徴取がございします。

今回の申し出については農振法第13条第2項に基づき(1)代替地がないこと、(2)農用地の周辺部であること、(3)担い手への農地利用集積への影響がないこと、(4)土地改良施設への影響がないこと、(5)基盤整備事業から8年を経過していること、などの5つの要件を全て満たすものに限り、農用地からの除外できるものとし、諫早市長(農業振興課)から農業委員会へ意見を求められたものでございます。

1番、有喜地区、早見町の農地、畑1筆792㎡の農用地区域からの除外についてです。本件は申出人が一般住宅を建築するためのもので、除外後は農地法第5条の農地転用申請を予定されています。

2番、長田地区、小豆崎町の農地、田1筆987㎡の農用地区域からの除外についてです。本件は保育所を経営している申出人が保育所の運動場、駐車場を整備するためのもので、除外後は農地法第5条の農地転用申請を予定されています。

3番、長田地区、中田町の農地、田1筆1477㎡のうち499㎡の農用地区域からの除外についてです。本件は申出人が農家住宅を建築するためのもので、除外

後は農地法第5条の農地転用申請を予定されています。

4番、多良見地区、多良見町山川内の農地、田1筆941㎡の農用地区域からの除外についてです。本件は申出人が農家住宅を建築するためのもので、除外後は農地法第4条の農地転用申請を予定されています。

5番、小長井地区、小長井町遠竹の農地、畑1筆489㎡の農用地区域からの除外についてです。本件は申出人の子が農家住宅を建築するためのもので、除外後は農地法第5条の農地転用申請を予定されています。以上で議案第5号の説明を終わります。

議 長 議案第5号の説明がありましたが、1番から5番について何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、1番から5番の農用地区域からの除外について「やむを得ない」とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、1番から5番の農用地区域の除外について「やむを得ない」とすることに決定いたします。

(議案第6号)

議 長 次に、議案第6号「農地法第3条の規定による許可申請書審議の件」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

事 務 局 議案第6号「農地法第3条の規定による許可申請書審議の件」をご説明します。

1番、諫早地区、本明町の農地1筆、172㎡についてですが、申出人から取下げ書の提出がっておりますので、1番につきましては議案から外させていただくこととします。

2番、小野地区、赤崎町の農地1筆、199㎡について、耕作に便利のため、購入する申請です。権利取得後の農地面積は102,668㎡です。トラクターやコンバイン等の機械は所有されており、家族と一緒に農作業をされています。また農業に約40年間従事され、譲受人宅から申請地までは車で約3分以内でありますので、機械、労働力、技術、通作距離に問題はないと思われます。

3番、多良見地区、多良見町野川内の農地3筆、2,076㎡について、農業に精進するため、贈与を受ける申請です。権利取得後の農地面積は32,100㎡です。草刈機や駆除機械等は所有しております。農業には約1年間従事され、譲受人宅から申請地までは車で約5分以内でありますので、機械、労働力、技術、通作距離に問題はないと思われます。

4番、飯盛地区、飯盛町上原の農地1筆、1,751㎡について、農業経営規模拡大を行うため、贈与を受ける申請です。権利取得後の農地面積は16,811㎡です。トラクターや軽トラック等は所有しております。また農業に約38年間従事され、譲受人宅から申請地までは車で約5分以内でありますので、機械、労働力、技術、通作距離に問題はないと思われます。

5番、高来地区、高来町船津の農地1筆、651㎡について、農業経営規模拡大

を行うため、購入する申請です。権利取得後の農地面積は15,564㎡です。トラクターやコンバイン等の機械は所有されており、家族と一緒に農作業をされています。また農業に約25年間従事され、譲受人宅から申請地までは車で約2分以内でありますので、機械、労働力、技術、通作距離に問題は無いと思われます。

6番、小長井地区、小長井町井崎の農地2筆、897㎡について、耕作を開始するため、購入する申請です。権利取得後の農地面積は897㎡です。管理機や草刈機等の機械は所有されております。農業は約11年間従事され、譲受人宅から申請地までは徒歩で約1分以内でありますので、機械、労働力、技術、通作距離に問題は無いと思われます。

7番、小長井地区、小長井町大峰の農地1筆、2,150㎡について、賃借していた農地を購入する申請です。権利取得後の農地面積は3,312㎡です。トラクターや軽トラック等の機械は所有されており、家族と一緒に農作業をされています。また農業に約11年間従事され、譲受人宅から申請地までは車で約20分以内でありますので、機械、労働力、技術、通作距離に問題は無いと思われます。

8番、小長井地区、小長井町大峰の農地1筆、1,162㎡について、賃借していた農地を購入する申請です。権利取得後の農地面積は3,312㎡です。トラクターや軽トラック等の機械は所有されており、家族と一緒に農作業をされています。また農業に約11年間従事され、譲受人宅から申請地までは車で約20分以内でありますので、機械、労働力、技術、通作距離に問題は無いと思われます。

9番、小長井地区、小長井町川内の農地1筆、1,102㎡について、耕作を開始するため、購入する申請です。権利取得後の農地面積は1,102㎡です。トラクターや田植機等の機械は所有されており、家族と一緒に農作業をされています。また農業に約11年間従事され、譲受人宅から申請地までは車で約15分以内でありますので、機械、労働力、技術、通作距離に問題は無いと思われます。

10番、小長井地区、小長井町遠竹の農地3筆、2,892㎡について、農業経営規模拡大を行うため、贈与を受ける申請です。権利取得後の農地面積は8,615㎡です。トラクターや田植機等の機械は所有されており、家族と一緒に農作業をされています。また農業に約25年間従事され、譲受人宅から申請地までは徒歩で約3分以内でありますので、機械、労働力、技術、通作距離に問題は無いと思われます。

議長 議案第6号の説明がありました。1番が取下げになりましたので、2番について小野地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委員 2番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、購入する農地において年間を通しブロッコリーを栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第3条第2項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議をお願いします。

議長 2番について、何かご質問はありませんか。

- 議 長 (「なし」と言う者あり)
 ご質問がないようですので、2番は申請どおり許可することにご異議ありませんか。
- 議 長 (「異議なし」と言う者あり)
 ご異議がないようですので、2番は、申請どおり許可することに決定いたします。
- 議 長 次に、3番について多良見地区担当の委員さん補足説明をお願いします。
- 委 員 3番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、贈与を受ける。農地において年間を通しみかんを栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第3条第2項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。但し、この方が27歳の女性で若く、経験が1年しかなく大丈夫かと思って訪問して話をしたら、慣れたパートさんを雇って農業に専念するということで問題ないと思います。ご審議をお願いします。
- 議 長 3番について、何かご質問はありませんか。
- 議 長 (「なし」と言う者あり)
 ご質問がないようですので、3番は、申請どおり許可することにご異議ありませんか。
- 議 長 (「異議なし」と言う者あり)
 ご異議がないようですので、3番は、申請どおり許可することに決定いたしますが、委員さんの見守りををお願いします。
- 議 長 次に、4番について飯盛地区担当の委員さん補足説明をお願いします。
- 委 員 4番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、贈与を受ける農地において年間を通し馬鈴薯、人参を栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第3条第2項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議をお願いします。
- 議 長 4番について、何かご質問はありませんか。
- 議 長 (「なし」と言う者あり)
 ご質問がないようですので、4番は、申請どおり許可することにご異議ありませんか。
- 議 長 (「異議なし」と言う者あり)
 ご異議がないようですので、4番は、申請どおり許可することに決定いたします。
- 議 長 次に、5番について高来地区担当の委員さん補足説明をお願いします。
- 委 員 5番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、購入する農地において年間を通し水稻を栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第3条第2項各号のいずれにも該当

- しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議お願いします。
- 議 長 5 番について、何かご質問はありませんか。
 (「なし」と言う者あり)
- 議 長 ご質問がないようですので、5 番は、申請どおり許可することにご異議ありませんか。
 (「異議なし」と言う者あり)
- 議 長 ご異議がないようですので、5 番は、申請どおり許可することに決定いたします。
- 議 長 次に、6 番から 10 番について小長井地区担当の委員さん補足説明をお願いします。
- 委 員 6 番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、購入する農地において年間を通しニンニク、玉ねぎ、カボチャ等を栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第 3 条第 2 項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議お願いします。
- 7 番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、購入する農地において年間を通し水稻を栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第 3 条第 2 項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議お願いします。
- 8 番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、購入する農地において年間を通し馬鈴薯、白菜等を栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第 3 条第 2 項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議お願いします。
- 9 番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、購入する農地において年間を通し水稻を栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第 3 条第 2 項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議お願いします。
- 10 番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、購入を受ける農地において年間を通し水稻を栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第 3 条第 2 項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議お願いします。
- 議 長 6 番から 10 番について、何かご質問はありませんか。
 (「なし」と言う者あり)
- 議 長 ご質問がないようですので、6 番から 10 番は、申請どおり許可することにご異

議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、6番から10番は、申請どおり許可することに決定いたします。

(議案第7号)

議 長 次に、議案第7号「農地法第4条の規定による許可申請書審議の件」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

事 務 局 議案第7号「農地法第4条の規定による許可申請書審議の件」についてご説明いたします。

1番、飯盛町上原の田1筆328㎡の農地を農業用施設用地とする転用申請です。追認の申請となります。区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、第2種農地に該当します。本件は、平成3年頃から農業用施設用地（農機具格納庫・集荷作業場）として利用しているものです。今回、所有地の確認をしたところ転用申請を行っていないことが判明したもので、今後も現状のまま利用する意向があるため申請を行うものです。現在被害を及ぼしておらず、今後も同様に利用するため被害の発生は無いものと思われまます。隣接する農地は申請人の自己所有であり問題なく、現状のまま利用するため追加の資金は発生いたしません。また、許可なく農地を農地以外のものにしていたということで、顛末書の提出がっております。

2番、高来町坂元の畑1筆350㎡の農地を住宅用地（敷地拡張）とする転用申請です。追認の申請となります。拡張後の敷地面積は1139.20㎡です。区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、10ha以上の広がりがある農地に隣接しているので第1種農地に該当し原則不許可になりますが、既存敷地の拡張ですので不許可の例外に該当しております。本件は、昭和62年頃から20年以上、住宅用地（農家住宅）の一部として利用しているものです。今回、所有地の確認をしたところ転用申請を行っていないことが判明したもので、今後も現状のまま利用する意向があるため申請を行うものです。現在被害を及ぼしておらず、今後も同様に利用するため被害の発生は無いものと思われまます。隣接する農地は申請人の自己所有であり問題なく、現状のまま利用するため追加の資金は発生いたしません。また、許可なく農地を農地以外のものにしていたということで、顛末書の提出がっております。

議 長 議案第7号の説明がありましたので、1番について飯盛地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委 員 担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図等から判断して、農業用施設用地に転用することについて適正であると思われます。ご審議のほどよろしくをお願いします。

議 長 1番について、何かご質問はありませんか。
(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、1番は、申請どおり許可することにご異議ありませ

んか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、1 番は、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 次に、2 番について高来地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委 員 担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図等から判断して、住宅用地（敷地拡張）に転用することについて適正であると思われます。ご審議のほどよろしくをお願いします。

議 長 2 番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、2 番は、申請どおり許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、2 番は、申請どおり許可することに決定いたします。
(議案第 8 号)

議 長 次に、議案第 8 号「農地法第 5 条の規定による許可申請書審議の件」を議題いたします。事務局より説明をお願いします。

事 務 局 議案第 8 号「農地法第 5 条の規定による許可申請書審議の件」についてご説明いたします。

1 番、川内町の田 2 筆 8 4 8 m²の農地と併用地を合わせた合計 1 0 0 1 . 1 3 m²について特定建築条件付土地（4 区画）とする転用申請です。契約内容は所有権移転（売買）、区域区分は調整区域、農振白地です。農地の立地基準については、1 0 h a 以上の広がりがある農地に隣接しているので第 1 種農地に該当し原則不許可になりますが、既存の集落に接続しますので不許可の例外に該当します。本件は、4 区画を造成し住宅を建築する計画となっています。土地の造成については盛土を最高 0 . 8 0 m 施し、緩衝地を設け土砂等の流出を防ぎます。雨水は敷地内に敷設する側溝から道路側溝へ放流し、汚水・生活雑排水については下水道に接続します。隣接する農地は譲渡人の自己所有であり問題なく、資金については残高証明書で確認しています。都市計画法第 2 9 条開発許可申請中です。

2 番、川内町の田 1 筆 1 5 3 m²の農地について貸駐車場用地とする転用申請です。契約内容は所有権移転（売買）、区域区分は調整区域、農振白地です。農地の立地基準については、1 0 h a 以上の広がりがある農地に隣接しているので第 1 種農地に該当し原則不許可になりますが、既存の集落に接続しますので不許可の例外に該当します。申請地ですが、7 台分の貸駐車場を整備し、近隣で営業している事業者に貸し付ける予定となっています。土地の造成については、盛土を最高 0 . 5 5 m 施し、土留め工事を行い土砂等の流出を防ぎます。雨水については水路に放流し、汚水・生活雑排水は発生しません。隣接する農地は譲渡人の自己所有であり問題なく、資金については借用書及び通帳で確認しています。

3 番、多良見町市布の田 1 筆 2 3 3 m²の農地について住宅用地（一般住宅）とする転用申請です。契約内容は所有権移転（売買）、区域区分は調整区域、農振白地

です。農地の立地基準については、第2種農地に該当します。本件は、木造平屋建ての住宅を建築するものです。土地の造成はありませんが、整地を行い、敷地周辺のコンクリートを補強するので、被害の恐れはありません。雨水については水路に放流し、汚水・生活雑排水は合併浄化槽から水路に放流します。隣接する農地は譲渡人の自己所有であり問題はなく、資金については融資証明書で確認しています。都市計画法第43条開発許可申請中です。

4番、多良見町野副の田1筆45㎡の農地について通路用地とする転用申請です。追認の申請となります。契約内容は所有権移転（贈与）、区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、第2種農地に該当します。本件は、昭和62年頃から20年以上隣地に接続するための通路用地として利用しているので、今回、所有地の確認を行ったところ転用申請を行っていないことが判明したもので、今後も現状のまま利用する意向があるため申請を行うものです。現在被害を及ぼしておらず、今後も被害の発生は無いものと思われます。隣接する農地は譲渡人の自己所有であり問題なく、追加の資金は発生いたしません。また、許可なく農地を農地以外のものにしていたということで、顛末書の提出がっております。

5番、森山町下井牟田の畑1筆839㎡の農地について特定建築条件付土地（3区画）とする転用申請です。契約内容は所有権移転（売買）、区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、10ha以上の広がりがある農地に隣接しているので第1種農地に該当し原則不許可になりますが、既存の集落に接続しますので不許可の例外に該当します。本件は、3区画を造成し住宅を建築する計画となっており、造成については盛土を最高1.0m施し、擁壁を設け土砂等の流出を防ぎます。雨水は敷地内に敷設する側溝から道路側溝へ放流し、汚水・生活雑排水については下水道に接続します。隣接する農地所有者等との協議報告書が添付され、資金については残高証明書で確認しています。雨水を道路側溝へ放流するため、道路に雨水配水管を設置しますが、そのための道路占用については許可申請中です。

6番、飯盛町上原の田1筆555㎡の農地のうち進入路を除く有効利用面積499.98㎡について住宅用地（一般住宅）とする転用申請です。契約内容は使用貸借権設定（永久）、区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、第2種農地に該当します。本件は、木造平屋建ての住宅を建築するものです。土地の造成はなく、現状のまま利用するため被害の恐れはありません。雨水については水路に放流し、汚水等については下水道に接続します。隣接する農地は貸渡人の自己所有であり問題なく、資金については融資証明書で確認しています。

7番、高来町法川の田1筆516㎡の農地について住宅用地（一般住宅）とする転用申請です。契約内容は所有権移転（売買）、区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、10ha以上の広がりがある農地に隣接しているので第1種農地に該当し原則不許可になりますが、既存の集落に接続しますので不許可の例外に該当します。本件は、木造平屋建ての住宅を建築するものです。土地の造成については、盛土を最高0.35m、切土を最高0.35m施しますが、

既存の石積みを利用するため被害の恐れはありません。雨水については水路に放流し、汚水・生活雑排水については合併浄化槽から水路に放流します。隣接する農地所有者等との協議報告書が添付され、資金については融資証明書で確認しています。

議 長 議案第8号の説明がありましたので、1番と2番について小野地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委 員 1番について、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図等から判断して、特定建築条件付土地に転用することについて適正であると思われます。ご審議のほどよろしくお願いします。

2番について、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図等から判断して、貸駐車場用地に転用することについて適正であると思われます。ご審議のほどよろしくお願いします。

議 長 1番と2番について、何かご質問はありませんか。
(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、1番と2番は、申請どおり許可することにご異議ありませんか。
(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、1番と2番は、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 次に、3番と4番について多良見地区担当の委員さん補足説明をお願いします。
委 員 3番について、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図等から判断して、住宅用地（一般住宅）に転用することについて適正であると思われます。ご審議のほどよろしくお願いします。

4番について、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図等から判断して、通路用地に転用することについて適正であると思われます。倉庫に行くための通路で、隣の農地も身内ということで被害をおよぼさないとされます。身内でもあり、そういうことを知らなかったということで反省しておられました。ご審議のほどよろしくお願いします。

議 長 3番と4番について、何かご質問はありませんか。
(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、3番と4番は、申請どおり許可することにご異議ありませんか。
(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、3番と4番は、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 次に、5番について森山地区担当の委員さん補足説明をお願いします。
委 員 5番について、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図等から判断して、特定建築条件付土地に転用することについて適正であると思われます。ご審議のほどよろしくお願いします。

議 長 5番について、何かご質問はありませんか。

- (「なし」と言う者あり)
- 議 長 ご質問がないようですので、5番は、申請どおり許可することにご異議ありませんか。
- (「異議なし」と言う者あり)
- 議 長 ご異議がないようですので、5番は、申請どおり許可することに決定いたします。
- 議 長 次に、6番について飯盛地区担当の委員さん補足説明をお願いします。
- 委 員 6番について、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図等から判断して、住宅用地（一般住宅）に転用することについて適正であると思われます。ご審議のほどよろしくお願いします。
- 議 長 6番について、何かご質問はありませんか。
- (「なし」と言う者あり)
- 議 長 ご質問がないようですので、6番は、申請どおり許可することにご異議ありませんか。
- (「異議なし」と言う者あり)
- 議 長 ご異議がないようですので、6番は、申請どおり許可することに決定いたします。
- 議 長 次に、7番について高来地区担当の委員さん補足説明をお願いします。
- 委 員 7番について、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図等から判断して、住宅用地（一般住宅）に転用することについて適正であると思われます。ご審議のほどよろしくお願いします。
- 議 長 7番について、何かご質問はありませんか。
- (「異議なし」と言う者あり)
- 議 長 ご質問がないようですので、7番は申請どおり許可することにご異議ありませんか。
- (「異議なし」という者あり)
- 議 長 ご異議がないようですので、7番は申請どおり許可することに決定いたします。
- (議案第9号)
- 議 長 次に、議案第9号「農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画に対する意見聴取の件」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。
- 事 務 局 議案第9号「農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画に対する意見聴取の件」についてご説明いたします。
- 1番、諫早地区、仲沖町の農地1筆、1,009㎡を賃貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、玉ねぎ、馬鈴薯等の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。
- 2番、小野地区黒崎町及び小野島町の農地2筆、3,346㎡を使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

3番、小野地区赤崎町及び小野島町の農地2筆、4, 028㎡を使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

4番、小野地区小野島町の農地1筆、2, 041㎡を賃貸借10年で再設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受け、引き続き農業経営を行います。

5番、長田地区大場町の農地9筆、8, 144㎡を使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されます。今回、権利の設定を受けることにより耕作を開始します。

6番、長田地区大場町の農地1筆、757㎡を使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されます。今回、権利の設定を受けることにより耕作を開始します。

7番、長田地区大場町の農地1筆、3, 460㎡を使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されます。今回、権利の設定を受けることにより耕作を開始します。

8番、長田地区大場町の農地3筆、2, 202㎡を使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されます。今回、権利の設定を受けることにより耕作を開始します。

9番、長田地区長田町の農地1筆、2, 583㎡を使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、玉ねぎ、馬鈴薯の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

10番、多良見地区多良見町野川内の農地2筆、1, 608㎡を賃貸借20年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、みかんの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

11番、小長井地区小長井町大峰の農地1筆、1, 048㎡を賃貸借20年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、みかんの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

12番、小長井地区小長井町大峰の農地1筆、1, 094㎡を賃貸借20年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、みかんの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

13番、小長井地区小長井町新田の農地1筆、1, 191㎡を使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

14番、小長井地区小長井町遠竹の農地4筆、20,979㎡を使用貸借20年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、みかんの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

続きまして、議案第9号の農用地利用集積等促進計画の変更について、説明します。既に農用地利用集積等促進計画により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている飯盛地区飯盛町後田の農地8筆、7,411㎡について、

15番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、馬鈴薯、人参、大根の生産を主体に経営しており、今回、農業経営規模拡大を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である3年6か月となっています。

次に、既に農用地利用集積等促進計画により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている飯盛地区飯盛町開の農地2筆、1,550㎡について、16番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営しており、今回、農業経営規模拡大を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である7年5か月となっています。

次に、既に農用地利用集積等促進計画により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている高来地区高来町善住寺の農地1筆、3,239㎡について、17番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は水稻の生産を主体に経営しており、今回、農業経営規模拡大を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である2年8か月となっています。

次に、既に農用地利用集積等促進計画により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている高来地区高来町溝口の農地1筆、575㎡について、18番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、玉ねぎ、馬鈴薯の生産を主体に経営しており、今回、農業経営規模拡大を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である2年8か月となっています。

次に、既に農用地利用集積等促進計画により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている高来地区高来町溝口の農地1筆、1,598㎡について、19番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、玉ねぎ、馬鈴薯の生産を主体に経営しており、今回、農業経営規模拡大を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である5年8か月となっています。

以上、第9号議案の1番から19番までの申出は農地中間管理事業の実施に係るものと認められるため、旧農業経営基盤強化促進法第18条第3項第2号の要

件を満たしています。また、1 番から 19 番までの農用地利用集積等促進計画は、「農地中間管理事業実施に関する規程」の「貸付先決定ルール」に基づき作成されたものであります。以上で議案第 9 号の説明を終わります。

議 長 事務局から説明がありました。1 番から 19 番について、何かご質問はありますか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、1 番から 19 番を「意見なし」とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ここでお尋ねしたいことがあります。小長井地区の 11 番、12 番です。貸す人が 81 歳、賃貸借年数が 20 年、満了する時には 100 歳を超えるという風になっています。この賃貸借に関しては、基本的には年数制限はないと思います。ただ農地法の解釈で言った時に問題ないと思いますけれど、もし期間中にお亡くなりになるとかで契約年数が続くということが以前から気になっていました。貸す人には何らかの相続人がいると思うので、100 歳を超える賃借について後見人的な用意があれば良いという気もするのですけれど、皆様のご意見を聞かせてもらえればと思います。質問をさせていただきました。

議 長 貸し付けの 20 年は問題ないと思いますけれど、事務局からちょっと説明をお願いします。

事務局 もし、賃貸借期間の途中で亡くなった場合は、その期間内は賃貸借の継続になると思いますけれど、期間が切れた後の更新をする時には、その方が亡くなっているのです。基本的には亡くなられた方の妻や子の相続を受けられる方が契約するという形になると思います。

委 員 親が亡くなっても契約期間が 20 年のため、解約されないということですか。

議 長 たぶん、合意が得られれば解約できる。

委 員 解約の合意が得られないなら、期間満了まではずっと作られるのでしょうか。

議 長 そういうことです。ただ今違う事案で、諫早市においては色んな開発が進んでいる。そして地権者においては契約をしていたが、例えば転用して売ってもらいたいと来られた時に、賃借契約があって合意解約ができない時は、もしかしたらトラブルが発生するかもしれない。もし、契約をされた本人が亡くなられた場合は、相続人と言いますが相続人が決まっていなくて大変なことになる。そういうことも踏まえて借りる場合でも、貸し出す方がそこら辺を納得していれば問題ないが、意外とそういうことがないままに長く耕作しているということでポンポン決めていることが多いので、そこら辺でもし相談があった場合は事務局にちょっと相談して、後々トラブルにならないようにした方が良いと思う。100 歳まで生きられるのが一番良いですが、その辺も含めて頭の隅に置いて頂ければと思います。

議 長 ほかにご意見がなければ、ご異議がないということで、1 番から 19 番は、「意見なし」とすることに決定いたします。

(議案第 10 号)

議 長 次に、議案第１０号「地籍調査による農地地目の変更に伴う意見聴取の件」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

事 務 局 議案第１０号「地籍調査事業による農地地目の変更に伴う意見聴取の件」についてご説明をいたします。

本案は、地籍調査課が地籍調査を実施した結果、農地等に係る登記地目の変更を予定している土地について、農業委員会の意見を求められているものです。

内容につきましては、貝津第４地区で、市街化調整区域内の農地６４筆の内、農地から農地以外への変更が５９筆、農地及び農地以外から農地への変更が５筆予定されています。久山第４の１地区で、市街化区域内の農地が１４５筆、調整区域内が４１筆、合計１８６筆の内、農地から農地以外への変更が１６２筆、農地及び農地以外から農地への変更２４筆、予定されています。破籠井第１地区で、市街化区域内の農地が１３筆、調整区域内が７８筆、合計９１筆の内、農地から農地以外への変更が８１筆、農地及び農地以外から農地への変更が１０筆予定されています。

農地以外への地目変更が予定されているもので、許可不要案件を除く、転用履歴等が確認できなかったものについては、農地法の許可及び届出の確認が取れていないため、一部の案件については農地法の手続きを要すると回答したいと思います。以上で説明を終わります。

議 長 事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか。
（「なし」と言う者あり）

議 長 ご質問がないようですので、第１０号議案については、ご異議ありませんか。
（「異議なし」と言う者あり）

議 長 ご異議がないようですので、事務局が作成した議案のとおり回答することに決定いたします。

（報 告） 次に、報告案件について、事務局より報告願います。

事 務 局 報告第１号「農地法第３条の３の規定による届出書受理の件」について報告します。

諫早地区から１件、小栗地区から１件、有喜地区から２件、真津山地区から１件、本野地区から２件、長田地区から６件、多良見地区から３件、森山地区から１件、飯盛地区から２件、高来地区から２件、合計２１件出ています。届出理由は、全て相続により農地の所有権を取得したためです。

報告第２号「農地法第１８条第６項の規定による合意解約の通知の件」について報告します。

小野地区から２件、長田地区から１件、多良見地区から１件、小長井地区から２件、合計６件の通知が出ています。解約理由としましては、４件が耕作者を変更するため、２件が売買するためとなっております。

報告第３号「農地法第５条の規定による農地転用届出書受理の件」につきましてご報告いたします。

１番 福田町の田１筆９７１㎡を住宅用地（共同住宅）とする売買の届出です。

２番 福田町の田１筆９１７㎡を駐車場用地とする売買の届出です。

3番 貝津町の現況地目：畑（登記地目：宅地）1筆22,99㎡を通路用地とする交換の届出です。

報告第4号「農業用施設届出書受理の件」につきましてご報告いたします。

1番 多良見町中里の畑1筆79㎡のうち38㎡を農業用通路とする届出です。

2番 多良見町中里の畑1筆545㎡のうち75㎡を農業用通路とする届出です。

3番 飯盛町上原の畑1筆615㎡のうち197㎡に農業用倉庫を建設する届出です。

報告第5号「農地改良等届書受理の件」についてご報告いたします。

1番 飯盛町里の田1筆328㎡を、低地であり排水が悪いため田畑転換を行い、生産性を高めるため農地改良を行うものとなっております。改良後は、根菜種を作付する計画となっております。

2番 飯盛町里の田2筆合計1,218㎡を、低地であり排水が悪いため田畑転換を行い、生産性を高めるため農地改良を行うものとなっております。改良後は、根菜種及び果樹を作付する計画となっております。

報告第6号、令和6年度農地法第32条第1項に基づく利用意向調査及び農地中間管理機構への情報提供について報告いたします。

令和6年度の利用状況調査により399件、641筆、面積489,877㎡について農地利用意向調査書を発出いたしました。

回答内容につきましては、

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 中間管理事業の利用が | 222筆、174,370㎡ |
| ② 利用権の設定又は移転が | 46筆、32,784㎡ |
| ③ 自ら耕作を再開が | 76筆、56,765㎡ |
| ④ その他が | 66筆、50,899㎡ |

となっております。

詳細につきましては、報告書に記載しているとおりです。

以上で報告を終わります。

議 長 ただいまの報告の件について、何かご質問はありませんか。
（「なし」と言う者あり）

議 長 なければ、報告の件はご了承をお願いいたします。

議 長 以上をもちまして、提出されました案件は全て終了いたしました。

お諮りします。議決されました案件につきましては、字句、数字、その他整理を要するものがありました場合、その整理を議長に委任されたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

議 長 異議ありませんので、これらの整理を要するものにつきましては、議長に委任することに決定いたしました。

議 長 本日の農地法等に係る審議結果をご報告します。

議案第1号 諫早市農業委員会会長の辞任に対する同意について 1件

追加議案第 1－1 号	会長の互選について	1 件
追加議案第 1－2 号	会長職務代理者の互選について	1 件
議案第 2 号	令和 6 年度事業報告承認の件	1 件
議案第 3 号	令和 7 年度事業計画（案）承認の件	1 件
議案第 4 号	令和 7 年度最適化活動の目標の設定等（案）	1 件
議案第 5 号	農業振興地域整備計画の農用地利用計画変更に伴う 意見聴取の件	5 件
議案第 6 号	農地法第 3 条許可	9 件
議案第 7 号	農地法第 4 条許可	2 件
議案第 8 号	農地法第 5 条許可	7 件
議案第 9 号	農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画に 対する意見聴取の件	19 件
議案第 10 号	地籍調査による農地地目変更に伴う意見	3 件

以上、審議件数は、全部で 51 件でございました。

それでは、これをもちまして、令和 7 年度諫早市農業委員会第 1 回総会を閉会いたします。

議 長 _____

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____